

神道の友

『惟神かんながらに生きる』

管長 菊池 重敏



神様のお働きの中には、「見て下さる」「聞いて下さる」「知って下さる」の三つのお働きがあります。私達の行い、行動を全て神様は見下さる。私達の悩みや苦しみや願い事を全て聞いて下さる。私達の考えや悩み、そして私という存在そのものを全

て知って下さる。と言うお働きです。

子供は母親や父親に甘えながら育ちます。全てを知っている大きな親の愛情に包まれて、安心して生活し、成長していく事が出来るのです。

神様は人間をはじめ宇宙の全ての物を作られた宇宙の親です。神様は、永遠に私達を見守ってくれます。

神様が見ていると思うから、悪いことが出来ないのです。また、神様が見ていると思うから、他人が見ていようが見てなかるうが善い行いをする事が出来るのです。神様が見て下さる、私達の

秋冷号
編集・発行
〒106-0031
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
宗教法人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524
題字 管長 菊池重敏 書

声を聞いて下さる、何でも知って下さると思うから、私達は安心して生活できるのではないのでしょうか。

この神様のお働きは、人間関係においても大切な事に成ります。

私達は、一人で生きて行くには寂しいのです。常に誰かに自分を見てもらいたい、話を聞いてもらいたい、自分の存在を知ってもらいたいと思うものです。ですから、人の上に立つ、人を使う立場にある人は、「見る・聞く・知る」をしつかり出来なければ、良い指導者には成れません。

例えば、組織の長に成る人は、組織の部下達の事を良く知らなければ成りません。自分の見える範囲、聞こえる範囲だけで部下を評価し

明治 天皇 御製

ともすればあらぬ方にとふみまよひ
教へがたきは人の道なり
ただしくもおひしげらせよ教草
をとこをみなの道をわかちて

ていては、判断を誤ってしまふ事も有ります。影となり土台と成って、一所懸命働いてくれる人達が評価されなければ、部下達は不満がつつてしまいます。反面、隅々の人達まで気を配る事が出来れば、自分達の事も分かってくれていると喜び、陰ひなた無く、働いてくれます。

見てくれる、聞いてくれる、すべて承知してくれていると思えば、その人の為に一所懸命尽くそうとします。神様のお働き同様に「見る・聞く・知る」をしつかり行っていくる良き指導者には、人はついて来ます。

対人関係において、「自分を見てくれない、話を聞いてくれない、理解してくれない」という不満から悩み

苦しみが生まれて来ます。神道は、古くは「惟神（かんながら）」と言います。ながらは「昔ながら」とか「生まれながら」と同じ意味で、同じ状態にある事を意味します。

ですから、「かんながら」とは、「神様の御心と同じく生きる」と言う事です。それが神道の教えです。私たちも神様のお働きである「見る・聞く・知る」を見習って分け隔てなく平等に周囲を見る事が出来、声を聞く事が出来れば、本物を知る事が出来るようになります。

周りの人達に、幸せと安心と生きがいを与えて行けるように、正しく見る、正しく聞く、正しく知る事を心掛けたいものです。

第二十一期第三回大会議 第四十六回総代会開催

今年の神道大教院総代会並びに神道大教院大会議が去る七月二十六日、二十七日の両日に亘り開催されました。又、総代会議事録署名名員に橋村美樹師・湯上弘通師、大会議議事録署名名員に和田直樹師・堤龍一郎師を推薦し承認されました。

【大会議報告】

- 並びに承認事項】
- (一) 責任役員指名承認の件
- (二) 令和四年度本局・大教院概況報告の件
- (三) 令和四年度大教院決算並びに令和五年度予算承認の件
- (四) 令和四年度神道大教本局決算並びに特別会計決算承認の件
- (五) 会計監査承認の件
- (六) その他

【議題】

- (一) 令和五年度神道大教本局予算(案)並びに特別会計予算(案) 審議の件
- (二) 令和五年度神道大教行事計画(案)の件
- (三) 創立百五十年記念大祭及び記念事業の件
- (四) 教令第五十五号(案)承認の件

○報告並びに承認事項(一)から(六)について、(一)の責任役員指名承認の件においては、



大会議員

管長より岡本忠宣師の体調不良に伴い役員辞任の申し出があり、任期中中ではあったが六月末を以て責任役員を辞任する事を受理した事を説明しました。後任の責任役員については、堤龍一郎師を推薦され承認されました。その他(六)の件については、前回より継続審議となっていた月極駐車場とコインパーキング併用運営案について管長より説明があり、再検討の結果、実際に入庫の際に不便である事が想定され、更に良い案を模索する為に今回の大会議では併用案について辞退させて戴く事とし、今後も駐車場運営については継続審議し



大会議

てゆく事で承認されました。○議題(一)から(四)の件について、(三)の創立百五十年記念大祭及び記念事業の件では、大祭の日時について、令和六年十月二十日十三時に霊殿祭、翌日二十一日十時に記念大祭、その後記念式典を十三時に行う案を説明し、記念事業の推進方法についても承認されました。

【神道大教院総代会報告】

並びに承認事項】

- (一) 令和四年度大教院概況報告の件
- (二) 令和四年度大教院収支決算報告の件
- (三) 創立百五十年記念大祭の件



大会議終了奉告 富田議長に合わせ拝礼

- 【協議事項】
- (一) 令和五年度神道大教院予算(案)審議の件
- (二) 令和五年度神道大教院行事計画(案)の件

○報告並びに承認事項、協議事項について、総代会出席者の賛成を以って承認されました。



総代



総代会

神道学院夏季研修会

令和五年度神道学院夏季研修会が八月二十二日から二十八日迄の七日間、本局を会場として開催されました。講師として、菊池管長、長元禮典長、堤・富田・大熊各典礼、菊池主事の六人によって講義・祭式作法が教授されました。昨年同様、研修期間は朝八時より受講生全員にて朝拝と国旗掲揚を行い、午前九時より九十分の講座を二講座、午後から祭式作法が四時間に亘り教授されました。午後五時



集合写真

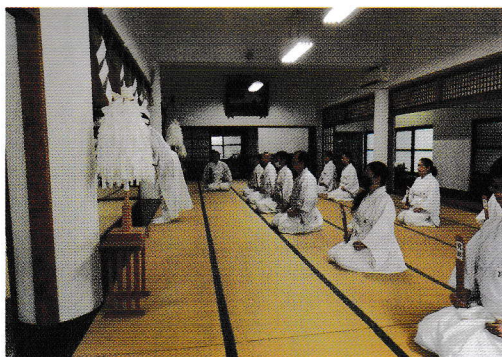
三十分より夕拝・国旗降納・掃除を行い、午後六時三十分一日の研修を修了という過密な日程でありましたが、受講生の学ぶ意欲に満ちた研修となりました。最終日には、受講生全員で終了奉告祭を行い、修得の成果を神前に捧げました。続いて閉講式では菊池管長より終了証が授与され、受講生を代表して葵拓夢師より答辞が述べられ、教歌奉唱の後、閉講式を終了しました。



長元禮典長の祭式講義

【研修会御厚志の御礼】

今回の研修にも、役員・教師大勢の方々より賛助の金一封や数々の差入れを賜り、お陰をもちまして無事に終了出来ました事、厚く御礼申し上げます。



祭式講義



富田典礼の大祓講義



受講生集合写真



終了奉告祭 齋主祝詞奏上



終了奉告祭 献饌の儀

受講生答辞

本日令和五年度神道大教神道学院夏季研修会を無事終了する事が出来、先生方御指導戴き有り難うございました。研修生の皆様も一週間大変お疲れ様でした。この何年間か夏季研修会が夏の風物詩の様に、毎年大変ではありますが少しだけ楽しみになりつつあります。自分なりに昨年理解できなかった事が今年は少しだけ前に進めたかなと思える事がとても多い研修会でした。

菊池管長、長元禮典長諸先生方の思いを私達はそれぞれのお宮に持ち帰りまっすぐな心を持った神職を目指して行きたいと努力研鑽致します。今後とも御指導御鞭撻宜しくお願い致します。

令和五年八月二十八日

研修生代表 葵拓夢

第二十三回
神道講座にて



三笠宮彬子女王殿下を囲んでの昼食会

上段左から國學院大學松本
久史教授、扶桑教実野管長、
神習教芳村管長、實行教柴
田管長、御嶽教北川管長、
下段左から黒住教黒住教主
神道大教菊池管長、
三笠宮彬子女王殿下
國學院大學針本正行学長、
國學院大學石井研士教授

教派神道連合会は、六月八日、九日に東京都渋谷区の國學院大學常磐松ホールで、教派連加盟十二教派の教師・信者らの相互交流と資質向上を目的にした「神道講座」を開催しました。「祓と信仰」をテーマに、参加者はその歴史や意義について学びました。

管長先生の
古希を祝う会

菊池管長先生に於かれましては、本年七月八日をお祝いとして、七十歳「古希」をお迎えになりました。そこで若森正道先生・菊池元宏先生・堤龍一郎・大熊満両部長・菊池重忠主事、そして小生の六名が発起人となり、七月二十六日午後五時三十分より、西麻布の「鉄板焼燦札」にて「管長先生の古希を祝う会」を開催致しました。会には神道大教大會議員・神道大教院総代、平素月次祭で御奉仕、

参列戴いている近郊の方など、十四名が出席され、日頃管長先生の健康管理は元守となる札幌八幡宮をお守り戴いている令夫人の「ゆかり様」も北海道よりお招きさせて戴きました。美味しい肉料理と飲み放題と言う事もあり、管長先生を中

心に、大いに盛り上がりました。また記念品として、出席の皆様より「ホテルのスイートルーム宿泊」と「商品券」を贈呈させて戴きました。最後には管長先生御夫妻より御礼の御言葉と、参加者全員に特注の高級ペンの返礼品を賜りました。管長先生御夫妻の今後益々の御活躍と御健康をお祈りし、散会となりました。

(長元祥泰)

出席者：菊池重敏、菊池ゆかり、長元祥泰、菊池元宏、堤龍一郎、吉良祝人、湯上弘通、若森正仁、永井栄子、宮内康、小泉輝人、有馬純雄、大熊満、菊池重忠



管長先生へ記念品を贈呈する永井栄子師

『伊豆修善寺あさば』
邸内社秋季大祭斎行

静岡県伊豆修善寺にある日本屈指の名旅館『あさば』は温泉宿として三百五十有

余年の歴史を誇り、平成三十年の増築・修繕大業以降も少しずつ改良を重ね、お客様のために心地良い空間の中で寛げる様にと邁進されています。伝統を重んじながら、しかも一見気付かない様なリニューアルを重ねて行く、その穏やかな進化を見守る様に大神様が邸内社にお祀りされています。御社の移築による遷座祭が行われた日を記念日と定め、平成三十年より六回目となった令和五年九月十九日は風の心地良い快晴に恵まれ、老舗旅館『あさば』において、菊池管長斎主の元に邸内社大祭が厳粛に斎行されました。その後続いて能舞台、各所の神前祭や清祓いを行い、この日

南筭町会夏休み
ラジオ体操

の祭典を恙無く執り納めました。御当主を始め御家族や従業員皆様の御健勝、そして歴史と伝統のある旅館の幾久しき発展繁栄を心から御祈り致します。

毎年恒例の地元南筭町会の夏休みラジオ体操が、七月二十四日～二十九日まで境内で開催されました。午前六時半のNHKラジオ全国放送に合わせ、大勢の地元子供達や住民が早朝より集まり、連日元気はつらつ心地よい汗を流していました。



夏休みラジオ体操

九星気学入門

八白土星

【基本的性格】

温厚な性格で意志が強く、真面目で仕事熱心、研究心も旺盛な八白土星生まれ。何でも丁寧かつ器用にこなす実直型です。

外見はソフトな印象ですが、内面はかなり頑固で融通のきかない面も。プライドが高く、我も強く、好き嫌いもはっきりしています。若くして出世できる素質を持つてはいても、強気の姿勢もほどほどにしないと運勢にも支障がでるでしょう。金銭面では、几帳面で節約型。度が過ぎてケチに走る傾向がありますから注意して下さい。また、女性は面倒見が良く、家庭的な人柄にもかかわら

ず勝気と猜疑心が災いして良縁の機を逃すことも。柔軟さをもつて、人との和を大切にすれば、実り多い人生を歩めます。

【仕事の特徴】

勤勉で努力家の八白土星の人は、根気や実直さが求められる仕事に適しています。あまり器用さはありませんが、どのような分野の職業でも、自分の仕事に対して真面目に取り組みますから、その意欲が認められて、先輩や上司に引き立てられるでしょう。

とくに、中期からは、長年培った実力が発揮でき、頭角をあらわします。次第に実績が評価され、社会的にも安定していく大器晩成型です。ただし、人づきあいが苦手

で頑固な面がありますから、対人関係でトラブルが生じることも。我を張りすぎないように心がけて下さい。八白土星の人の適職は、建築家、インテリアデザイナー、旅館業、ペンションオーナー、ホテルマン、レストラン・菓子屋経営、不動産業、教師、技師、経理士、税理士、宗教学家、陶芸家などです。

【恋愛の特徴】

素朴で地味な印象そのまま、やさしさや情熱を心のうちに閉じ込めてしまうタイプです。

心情を表に出せず、恋に恋してしまう傾向もあります。恋愛には慎重で、一目惚れや情熱的な恋とは縁がなく、交際するきっかけ作りや愛情表現も上手ではありません。ですから、好感を持つた相手と時間をかけて、少しずつじっくりと理解を深めあつていくような恋愛が

理想的です。

また、恋愛ではかなり奥手気味の八白土星生まれは、考え方も古風なせいか、適齢期で見合い結婚するパターンが多いでしょう。

反面、一度好きになると一気に燃え上がり、相手を独占し、嫉妬深い性格に変身することも。

結婚後は、男性は家庭を大切にする良き夫、良き父親になります。女性は、専業主婦として家庭を守ると、運気が開けます。

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』
(株式会社 神宮館 発行)
より転載



著者 曆作家
大教正 井上象英

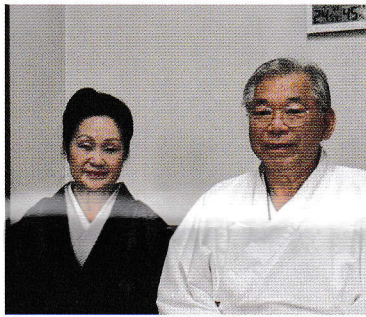
<p>西暦五七八年創業 社寺建築</p> <p>剛 金剛組</p> <p>0120-054-731</p> <p>金剛組 検索</p>	<p>墓石・記念碑・鳥居・一般土木</p> <p>有限会社</p> <p>富士光</p> <p>代表取締役 小泉輝人</p> <p>〒175-0092 東京都板橋区赤塚 1-10-7 携 帯 090-1434-2088</p>	<p>御装束・祭具・神具・授与品</p> <p>有限会社</p> <p>岡本装束店</p> <p>〒621-0018 京都府亀岡市大井町 小金岐3丁目35番地 TEL 0771-24-5085 FAX 0771-24-5095</p>	<p>創業 明治以前</p> <p>各種御神符・守札 その他授与品全般</p> <p>湊御神符奉製所</p> <p>株式会社 湊</p> <p>伊勢市神宮会館前 (〒516-0025) TEL (0596) 22-2442 (代表) FAX (0596) 28-8445 info@ise-minato.co.jp http://www.ise-minato.co.jp</p>
--	--	--	--

創立百五十年記念事業 奉賛者御芳名

七月一日～九月三十日

(申込順・敬称略)

参 萬 円	嶋 影 憲 三	荒 浪 仁 一 郎
参 萬 円 也	小 畑 教 子	新 海 研 次
参 萬 八 仟 円 也	小 畑 加 苗	寺 田 勢 鶴 子
四 萬 四 仟 円 也	國 井 高 子	寺 田 將 二
四 萬 四 仟 円 也	永 瀨 幸 子	寺 田 勢 鶴 子
参 萬 六 仟 円 也	白 井 光 一	遠 藤 倭 文 子
参 拾 萬 円 也	太 田 久	鎌 田 光 彦
参 拾 萬 円 也	木 村 剛 正	堀 川 秀 夫
参 萬 参 仟 円 也	木 村 孝 子	伍 萬 円 也
参 萬 七 仟 円 也	三 宅 真 理 子	伍 萬 八 仟 円 也
伍 萬 四 仟 円 也	木 村 剛 生	参 拾 萬 円 也
伍 萬 円 也	湯 上 弘 通	参 拾 萬 円 也
参 萬 八 仟 円 也	多 田 悦 子	参 拾 萬 円 也
	山 川 信 利	参 拾 萬 円 也



奉賛者國井高子先生と管長

参 萬 八 仟 円 也	島 田 圭 子
参 萬 四 仟 円 也	今 村 滋
参 萬 六 仟 円 也	白 井 正 人
参 萬 六 仟 円 也	辻 本 ス マ 子
参 萬 四 仟 円 也	寺 嶋 日 登 美
参 萬 四 仟 円 也	日 向 敦 子
参 拾 萬 円 也	井 上 象 英
六 萬 四 仟 円 也	佐 藤 照 美
伍 萬 円 也	古 市 文 江
伍 萬 円 也	天 野 衆 王
参 萬 伍 仟 円 也	千 葉 佳 彦
参 百 萬 円 也	天 聖 神 社

この度は教師・信徒の皆様より多大なる御奉賛を賜り、厚く御礼申し上げます。尚、掲載金額は特志を含んだ総額となっております。

教場長各位

神道大教創立百五十年記念誌 教場(神社・教会)御紹介記事のお願い

神社長・教会長の皆様には日頃より神道大教の諸行事に対しまして、御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和五年五月に御依頼しておりました教場(神社・教会)紹介記事につきまして締切り期日が近くなつて参りましたので、改めて御案内させて頂き戴きます。

今回の記念誌は、立教百五十年の歴史を振り返り、神道大教の歩み・歴代管長のコメント・四大信条要義・國學院大學教授の寄稿等の掲載を考えております。

百年記念誌では、紙面の都合上、一部の教場・活動記事しか掲載が叶いませんでしたが、今回の記念誌では、所属教場(神社・教会)全ての写真と活動を掲載致したいと思っておりますので、お手数ですが教場の写真と簡単な由緒をお送り下さいます様お願い致します。

記念誌の記載によって貴神社・教会の歴史が末永く記録されますので、是非御協力下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

◎記載内容

- ① 教場名
- ② 御祭神名
- ③ 現在教場長氏名
- ④ 創立時期
- ⑤ 初代(歴代)教場長名
- ⑥ 鎮座地
- ⑦ 電話番号・ファックス番号(記載希望者のみ)
- ⑧ ホームページアドレス・メールアドレス等

写真は神社・教会の外観や御神前、祭典風景等。神道大教の歴史を物語る様な写真がございましたら、あわせてお寄せ下さい。想い出の紙面にて御紹介致します。

尚、寄稿につきましては掲載内容記入用紙(五月送付済み)御確認の上メールもしくは郵送にて令和五年十一月末日迄に御返送下さい。また写真はデータにてお送り戴ければ幸いです。

お送り戴きました写真はお返し致します。

※メールアドレス info@shintotaikyō.org

管長の動向 (対外行事・事務局)

- 七月 二十四日～二十九日 南筭町会夏休み子供ラジオ体操開催(大教院境内) 責任役員会開催
- 二十五日 神道大教院総代会開催
- 二十六日 管長先生の古希を祝う会開催
- 二十七日 神道大教院大会議開催
- 八月 一日 月首祭
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭 (管長・菊池主事奉仕)
- 十五日 中旬祭
- 二十一日 月次祭
- 二十二日～二十八日 神道学院夏季研修会開催
- 九月 一日 月首祭
- 九日 南筭町会秋祭り
- 十一日 教派神道連合会理事会出席 (管長・大熊部長)
- 十三日 四本木稻荷神社月次祭 (管長・総監・大熊部長奉仕)
- 十五日 中旬祭
- 十九日 伊豆市「修善寺あさば」邸内社大祭斎行 (管長・大熊部長奉仕)
- 二十日 百五十年記念事業実行委員会開催 (第六回)
- 二十一日 月次祭・秋分盃祭斎行
- 十月 一日 月首祭
- 八日 [榎丸昌] 豊洲市場大祭斎行 (管長・大熊部長奉仕) 眞中神社設立九十年記念大祭斎行 岐阜市 (管長・総監・堤部長奉仕)
- 十一日 教派神道連合会理事会出席 本局弥栄殿 (管長・大熊部長) 命の重さを考える14.公開講演会(教派連主権) 於大教院
- 十三日 四本木稻荷神社秋季大祭斎行 (管長・総監・菊池主事奉仕)
- 十五日 中旬祭
- 十八日 有栖川宮・高松宮展墓 (管長・大熊部長参拝)
- 二十日 秋季大祭準備・習礼
- 二十一日 秋季大祭斎行

教内異動

【教師補名】

○補 権訓導

北海道・札幌八幡宮 (属)

伊藤琢磨

(令和五年八月二十八日付)

○補 権訓導

東京都・白鬚神社 (属)

品川順子

(令和五年八月二十八日付)

【教師昇級】

○補 大講義

山形・三山宮 (長)

宮田博正

(令和五年八月二日付)

○補 中講義

神奈川・直属

額綱司

(令和五年八月二十八日付)

○補 権中講義

東京・直属

葵拓夢

(令和五年八月二十八日付)

○補 権少講義

栃木・出雲神社 (長)

山田頭義

(令和五年八月二十八日付)

○補 訓導

千葉・直属

金井正

(令和五年八月二十八日付)

○補 訓導

千葉・直属

橘俊郎

(令和五年八月二十八日付)

【帰幽報告】

次の先生の帰幽の報に接し 生前の御奉仕、御活躍を称 え、謹んで哀悼の意を表し ます。

○令和五年七月二十三日帰幽

岐阜・桃太郎神社 (属)

少講義 川治晴広師

○令和五年八月十八日帰幽

愛媛・木野山中教会 (長)

権中講義 野田智子師

(敬称略)

※令和五年九月三十日現在

【お詫びと訂正】

令和五年七月二十一日盛夏 号の掲載にて誤りがござい ました。

お詫びして訂正致します。

三項一段目

(誤) 長元禮典長

(正) 額綱典儀

四項一段目

(誤) 幡州白山神社

(正) 播州白山神社

四項四段目

(誤) 典儀・長元祥泰禮典長

(正) 副齋主・長元祥泰禮典長

典儀・額綱司

宗教法人解散公告

宗教法人「神道大教あかつき仙台分教会」は、令和五年 五月十日開催の責任役員会の議決により解散する事にな りましたので、この事について異議のある方は、令和五 年十二月三十一日迄に、意見を申し述べて下さい。 宗教法人法第四十四条第二項の規定により広告します。 令和五年十月二十一日 信者その他利害関係人各位

住所 宮城県仙台市若林区河原町一―六―十九

宗教法人「神道大教あかつき仙台分教会」 代表役員 堀川 秀夫

菊池管長の教場訪問

神道大教 扇森稻荷神社

五月十九日、菊池管長先生に訪問戴きました。

管長先生に於かれましては何度目の訪問でしょうか？小生が記憶している最初は平成八年、父でもある先代淳宮司の時です。

神道大教扇森稻荷神社は昭和十六年初代の「長元力子」が御神勅を戴き、大分県竹



扇森稻荷神社の御神前



春季大祭 齋主奉仕の管長



長元宮司祝賀会 管長祝辞



左から長元宮司、管長

田市に鎮座する「扇森稻荷神社」の御分霊を奉斎した事に始まります。昭和二十八年には「宗教法人神道大教扇森稻荷直方小教会」となりました。

昭和六十一年に祖母の力子が逝去し、父が二代目の教会長に就任。平成八年「平成の御遷座」を行い、名称も「宗教法人神道大教扇森稻荷神社」に改称し、十月二十四日は記念大祭を斎行

致しました。その際に当時の「神道大教典礼」として御奉仕戴きました。その後何度もお越し戴いております。平成二十三年四月父が逝去し、葬儀で齋主をお務め戴きました。

第十三代管長就任後は、母豊子の葬儀でも齋主をお務め戴きました。その時には小生が服忌中の為、当社の「春季大祭」も齋主として御奉仕戴きました。管長先生自らが一教場の齋主をお

務め戴き、大変恐縮した次第です。また平成三十年に開催致しました小生の「大教正拝受・礼典長就任祝賀会」や令和三年に斎行した「御鎮座八十年記念大祭」では主賓としてお越し戴き、祝辞を賜りました。

そして毎年開催している「神道大教九州教区研修会」では「管長講話」や祭式の御指導も戴いております。何度も訪問戴いております、本局より色々な先生方へ

「管長訪問」の依頼をさせて頂くのですが、皆様恐縮してお断りなさいます。しかし管長先生自らが、皆様の教場の大神様へ「額ずきお参り」をなさる事は有難い事だと存じます。どうか遠慮なされない様にお願ひ致します。

最後に、今回は小生が執筆致しましたので、平素とは違う「菊池管長の教場訪問」となりました事をお詫び申し上げます。(長元祥泰)